

令和8年 第11回 川口市教育委員会定例会会議録

日 時 令和8年8月17日（月）

午後1時30分

場 所 川口市教育委員会室

1 出席者

教育長	井 上 清 之	書記長	栗 原 栄
委 員	菅 原 京 子	書 記	穴 倉 紀 章
委 員	小野寺 秀 明	書 記	柴 田 久美子
委 員	千 葉 彩 香	書 記	森 岡 毅
委 員	渡 辺 隆 志		

2 説明のため出席した者

副教育長	大 谷 和 史
教育総務部長	太 田 晃
学校教育部長	丸 山 陽 一
教育政策室長	小 川 哲
教育総務課長	栗 原 栄
生涯学習課長	矢 吹 浩 幸
文化財課長	上 野 浩 一
中央図書館長	谷田部 哲
科学館長	荒 井 真由美
スポーツ課長	増 田 太 郎
庶務課長	高 木 美 季
学務課長	岩 井 正 明
指導課長	佐 野 隆 之
学校保健課長	湯 浅 禎之助
高等学校副主幹	遠 藤 幸 可
指導課主任指導主事	川 島 慎 也（議案第60号のみ出席）
指導課指導主事	小 笹 勉（議案第60号のみ出席）
市立高等学校長	吉 野 浩 一（議案第60号のみ出席）

3 前回会議録の承認

井上教育長 第10回教育委員会定例会会議録については、書記より、各委員に事前配付している。質疑があればお聞かせ願いたい。

【質 疑】 （質疑なし）

【承 認】 (全員異議なく承認)

4 教育長報告

井上教育長 教育長報告(3)は、個人情報を含む内容であるため、秘密会で行いたいが如何か。

委 員 (異議なし)

井上教育長 異議なしと認め、教育長報告(3)は秘密会で行う。

(1) 9月行事予定について

井上教育長 9月行事予定については、書記より、各委員に事前配付している。質疑があればお聞かせ願いたい。

【質疑応答概要】

小野寺委員 9月27日開催の学校生活オリエンテーションについて、参加者の詳細を教えてください。

教育政策室長 学務課において編入学手続きを行った外国籍児童生徒を対象に実施するものであり、現在まで4回開催し、55名の児童が参加した。なお、児童の保護者及び通訳を含めると、参加者は合計で約100名ほどである。8月23日以降に開催するオリエンテーションから中学生も対象となるため、より参加人数は増加すると見込まれる。

小野寺委員 学校の教職員から好意的な意見を聞いている。継続して実施していただきたい。

渡辺委員 外国籍児童について、卒業まで在籍せず、途中で母国へ帰る児童生徒は多いのか。

教育政策室長 統計をとっていないため、正確な数値はわからないが、少なからずいる。

渡辺委員 9月25日開催の発明創意工夫展は毎年行われているのか。また、児童生徒の作品が出展されているのか。

指導課長 毎年開催しているものである。名称は「児童・生徒・教職員発明創意工夫展」としているが、児童・生徒の作品を対象に審査している。

【承 認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

(2) 令和7年度(公財)川口市スポーツ協会経営状況報告について

【説 明】 (スポーツ課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

渡辺委員 川口マラソン大会について、表彰者における川口市民の割合は。

スポーツ課長 昨年度において、1位から3位における川口市民の割合は44%である。

【承 認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

5 協議事項

なし

6 議案の審議

井上教育長 議案第54号から議案第57号は議会案件のため、秘密会で行いたいが無いか。また、進行の都合上、議案第60号は、秘密会の後に行いたいが無いか。

委員 (異議なし)

井上教育長 異議なしと認め、議案第54号から議案第57号は秘密会で行い、議案第60号は、秘密会の後に行う。

【上 程】

井上教育長 議案第58号「令和8年度川口市教育委員会事務点検・外部評価報告書（令和7年度実施事業）について」を上程し説明を求める。

【説 明】

教育総務課長 (教育総務課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

菅原委員 本年度、教育振興基本計画が改定されたが、委員に改定内容を説明のうえ、評価を行ったのか。

教育総務課長 今回は令和7年度実施事業を対象としているため、改定前の第2期川口市教育振興基本計画の指標を基に事務点検及び外部評価を行っている。

小野寺委員 指標における現状値は、いつの数値か。

教育総務課長 第2期川口市教育振興基本計画は令和3年度から令和7年度を対象とし、令和2年度に作成したものであるため、現状値は令和元年度における実績値である。

【採 決】 (質疑応答後、全員異議なく可決)

井上教育長 議案第58号「令和8年度川口市教育委員会事務点検・外部評価報告書（令和7年度実施事業）について」を案件のとおり可決する。

【上 程】

井上教育長 議案第59号「川口市学校運営協議会委員を委嘱することについて」を上程し説明を求める。

【説 明】

学務課長 (学務課長が資料に基づき説明した。)

【質 疑】 (質疑なし)

【採 決】 (全員異議なく可決)

井上教育長 議案第59号「川口市学校運営協議会委員を委嘱することについて」を案

件のとおり可決する。

7 その他

(1) 第19回川口ツデーマーチについて

【説明】 (スポーツ課長が資料に基づき説明した。)

【質疑】 (質疑なし)

【承認】 (全員異議なく承認)

(2) 第44回川口マラソン大会について

【説明】 (スポーツ課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

小野寺委員 ゲストランナーの口町氏はSUBARU陸上競技部を退部したのか。

スポーツ課長 令和8年2月に現役を引退している。

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

休 会

井上教育長 以上をもって休会する。(午後1時55分)

再 開

井上教育長 それでは、再開する。(午後2時18分)

6 議案の審議

【上 程】

井上教育長 議案第60号「令和9年度使用高等学校教科用図書の採択について」を上程し説明を求める。

【説 明】

指導課長 (指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

小野寺委員 高等学校における教科書採択とはどのような流れか。

小笹指導主事 川口市立高等学校では、教科書採択における公正確保の徹底を図りつつ、6月に高等学校内での選定を行い、指導課が検収をする。そのあと、市教育委員会において審議・採択となる。これに並行し、文部科学省に対し、最終的に9月16日までに教科書需要数報告を行う。

渡辺委員 高等学校での一般的な教科書選定はどのようなものか。

市立高等学校長 まず教科内で、教科書の執筆に関わった者を除いた教科担当者が見本本により教科書を検討し選定原案を作成する。次に、その原案を教科会議で検討し、教科としての選定理由をまとめる。その後、原案及び選定理由を校内の教科書選定委員会で検討し、職員会議を経て、最終的に校長による決定となる。

千葉委員 川口市立高校の教科書選定方針における観点は。

市立高等学校長 選定における観点は、公正の確保を大前提とし、学校教育目標と教科・科目における目標の実現や生徒の実態を踏まえ、生徒一人一人の進路実現に資するものであるかどうかなどを考慮し、校長が方針を決定する。なお、令和9年度入学生から年次進行で教育課程を変更することとした。具体的には、「総合的な探究活動の時間」を3年間で5単位分実施、可能な限りで同じ科目の単位数を揃えたうえで同学年での実施、中高一貫クラスでさらに自らの学びや探究活動を支援するため、放課後の時間を確保するよう1時限減の変更とする。選定理由の概略は、全日制は17ページ、定時制は追加資料の下部「教科書選定方針」にまとめられている。どの教科・科目もこれらの点を重視し、教科書を選定している。

井上教育長 令和9年度採択では、新規採用教科書の数や全体に占める割合はどう変化しているか。

小笹指導主事 令和9年度は全日制での採用予定数60冊中のうち31冊が新規で、52%となる。これが令和8年度では29冊、約48%である。定時制においては、採用予定数22冊中の12冊が新規で、割合は約43%から約54%に増加している。新規採用教科書が多いのは、全日制・定時制あわせ4冊の別教科書の採用や教育課程の変更に伴う履修科目の変更等も影響しているが、何よりも教科書の改訂が令和9年度も実施されたことにより、継続採用でも新規扱いとなっていることが主因である。

菅原委員 高等学校の教科書採択に関する指導課の考えは。

指導課長 学校は生徒の実態を把握し、生徒の進路希望の実現や進学実績の向上を含めた学校目標を実現するため、教育課程を編成している。そのうえで教科書採択に関して、公正確保等を考慮しつつ十分な調査研究・検討を行っていること判断していることから、高等学校による選定を最大限尊重したい。

菅原委員 内進生と外進生が使用する教科書に違いはあるか。

市立高等学校長 教科によっては内進生と外進生で異なる場合がある。具体的には、中高一貫教育の強みを活かし、学習がより早く進む教科書が選ばれる傾向があり、特に数学は異なったものを使用している。

菅原委員 デジタル教科書への対応やICTを活用した教育についてはどう捉えているか。

市立高等学校長 採択した教科書の多くは、デジタル教材やオンラインコンテンツとの連携機能を備えている。新学習指導要領では特に、学んだ知識を踏まえて思考

し、意欲的に課題に向かう姿勢が求められることから、ＩＣＴ環境を手段として積極的に活用するとともに、本校の環境や施設のもとで生徒の学びをより効果的に支援したい。

千葉委員 採択した教科書の価格は考慮したか。

市立高等学校長 高等学校用教科書については、生徒・保護者の負担も考慮すべき事項の一つであるが、採択にあたっては教育内容や指導効果を最優先とし、総合的な観点から適切な教科書を選定した。

小野寺委員 特別な教育的支援が必要な生徒への配慮はあるか。

市立高等学校長 教科書の選定に際しては、見やすさや分かりやすさ、学習へのアクセスのしやすさ等も確認している。また、必要に応じて補助教材やＩＣＴ機器を活用し、多様な生徒への支援を行っていく。

渡辺委員 副教材等は令和９年度も使用するか。

市立高等学校長 教育内容を確実に習得するため、令和９年度も教科用図書や市販の副教材を用い、主に家庭での反復練習、予習・復習などに活用する。

渡辺委員 経済産業省は、「２０４０年の就業構造推計（改訂版）」において、２０４０年には、文系人材が約８０万人余剰となり、理系人材が約１２０万人不足になると推計している。川口高等学校における現状と、また、将来を見据え、今後理系の学科や生徒数を増やすなどの変更を考えているのか、説明いただきたい。

市立高等学校長 川口高等学校には、現在理数科、普通科スポーツ科学コース、普通科の３学科がある。普通科スポーツ科学コースは「科学」と名がついているように、理系に指向するコースである。普通科においては、選択により、理系と文系のどちらにも進む事ができるようになっている。

現在のところ学科等の変更予定はないが、就職等において幅広く選択ができることから、理系人材が増えるよう学校としても働きかけを行っているところである。

【採 決】 (質疑応答後、全員異議なく可決)

井上教育長 議案第６０号「令和９年度使用高等学校教科用図書の採択について」を案件のとおり可決する。

８ 閉 会

井上教育長 以上をもって本日の教育委員会定例会を閉会する。(午後２時２９分)